

麻生医療福祉&保育専門学校福岡校

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

【社会福祉科】

社会福祉士国家資格の受験資格に必要な指定科目を全ての学年において、配置する。また、保育士資格取得のため、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科併修による指定カリキュラムを配置し、社会福祉・こども家庭福祉の現場のニーズに即した科目編成を行う。

①社会福祉学および保育学、その支援科学において蓄積された知見に基づき、福祉マインドを備える人材となるための価値・知識・技術を修得する科目群を全ての学年において設置する。

②社会福祉に関する姿勢・知識・技術を体系的に学ぶため、講義、演習、実習の多様な形態の科目を設置し、社会福祉専門職としての態度・知識・技術を涵養するため、「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」を配置する。

③保育に関する姿勢・知識・技術を学ぶため、保育についての理論や技術に関する科目を設置し、保育の方法や保育者としての姿勢を体得するため「保育実習Ⅰ・Ⅲ」を配置する。

【こども未来学科】

保育士資格および幼稚園教諭二種免許取得のため、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科を併修による指定カリキュラムを基本とし、知識・技術を補完するための科目を追加し、現場のニーズに即した授業科目の編成を行う。

①豊かな教養と知性が備わった保育者を育成するための共通教育科目と保育の本質や目的、対象、内容について理解を深めるために専門教育科目を配置する。

②地域連携カリキュラムを通し、地域の保育園、公民館・小学校と連携を図り、日々の授業を発展させた実践を行う。また、多角的な視点から保育ニーズの重要性を学べる機会を作り、主体性、協働性、問題解決力等を備えた保育者を育成する。

③保育士資格・幼稚園教諭免許の取得の為のカリキュラムに加え、保育に必要な更に豊かな表現力を身につける為に、リトミックや幼児体育に関する科目を配置する。

【こども保育科】

保育士資格および幼稚園教諭二種免許取得のため、本校保育士養成課程の指定科目に加え、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科のカリキュラムを基本とし、両資格・免許に必要な共通教育科目および専門的知識、実践的技術を修得するための専門教育科目を配置する。

①豊かな教養と知性が備わった保育者を育成するために、共通教育科目を配置し、社会人としての一般常識やルールについて理解を深める教育を行う。

- ②保育の実践力を身に付けるため、保育についての理論を基に、授業・実践・実習・振り返りを積み重ねていく専門教育科目群の中で、現場の保育ニーズの理解を深め、保育者として必要な技術や知識を修得できる職業教育を行う。

【医療秘書・事務科】

医療事務員として必要な専門知識と技術を学び、接遇マナーやコミュニケーション力を備えた人材を育成することを目的とする。診療報酬や医療文書作成の基礎、ICT 活用能力、社会性を身に付けるため、以下の方針で科目を編成する。

①医療事務と診療報酬の基礎

診療報酬の仕組みや算定方法、医療秘書業務の基礎を学び、医療文書の作成技術を習得する。

②ICT 活用とセキュリティ

マイクロソフトオフィスの操作やデータ処理を習得し、情報セキュリティの基礎知識を学ぶ。

③医療用語と現場対応力

医療用語や略語を理解し、現場でのスムーズなコミュニケーションを実現する。

④対人スキルとホスピタリティ

聴く力、伝える力、相手の感情を汲み取る力を養い、思いやりのある対応を学ぶ。

⑤実践的な学び

実習や体験型授業を通じ、現場の実務を学び、実践力と自己成長を促す。

【AI&診療情報管理士科】

本学科では、診療情報管理士および医療情報技師として医療分野で活躍するために必要な知識・技能を段階的に習得できるカリキュラムを編成する。1 年次から 3 年次までの学びを通じて、基礎知識の習得から実践的な応用力の完成まで、確実な成長を支援する。

1 年次：基礎知識と医療業務の全体像の理解

1 年次では、診療情報管理士認定試験や医療情報技師能力検定試験の基礎となる医学・医療の知識を中心に学ぶ。保険制度や診療報酬制度、レセプト作成・点検の基本を学ぶことで医療事務の基礎力を固める。また、病院の機能や働く人々の役割、業務内容を理解し、説明できる力を養う。さらに、AI を活用した初歩的な操作やアウトプットの生成を通じて、AI リテラシーの基礎を身につける。

2 年次：専門知識を深め、医療現場での課題解決力を育成

2 年次では、医療情報技師能力検定試験の全分野（医学・医療、情報処理技術、医療情報システム）に挑戦し、試験合格を目指す。病院実習を通じて、医療現場での業務プロセス

を分析し、課題を具体的に発見・AI適用を検討する力を実践的に身につける。また、医療現場で発生する課題やリスクを理解し、それに対する対応策を考える力を養う。

3年次：知識を統合し、医療の現場で活躍できる総合力を完成

3年次では、診療情報管理士認定試験と医療情報技師能力検定試験の出題範囲を完全に理解し、合格を目指す。また、患者やその家族の不安や苦しみ、訴えに対して、その背景や状況を正確に捉え、自身なりの考察を行い、根拠を持って適切に対応する力を育成する。さらに、AIを活用した問題解決やシステム適用の提案、データ分析を実践的にを行い、医療の現場で活躍するための総合力を完成させる。

【診療情報管理士専攻科】

医療業界における最新の情報を現場との連携によって共有しながら、医療現場の中核を担う人材としての医学知識、専門知識およびITを使った問題解決のスキルをさらに磨くことができる科目編成を行う。

- ①医学や医療の専門知識をさらに学び、他の医療専門スタッフとの連携を円滑に行うことができるコミュニケーション能力を身につける。
- ②ITへの知識が高く、効率よく迅速かつ正確に院内の各部署へのデータ提供を行えるプラットフォームを管理・運営できる能力を身につける。
- ③院内情報を正確に分析することができ、現場で必要とされるデータの抽出や作成を統計的観点から行うことができる能力を身につける。

【福祉心理学科】

社会福祉士及び精神保健福祉士の国家資格受験資格取得のために必要な指定科目及び実習履修に加え、職業実践専門課程として、専門技術を習得するため関係機関や福祉事業所との連携を深めることができる科目を編成する。

以下の内容を学生の段階的な達成目標とし、体系的な科目編成を行う。

1年次

自己理解・他者理解ができる専門職の土台となる人間力を養える科目編成を行う

2年次

SW実習を通して、当事者理解や個別支援といった、より実践的なソーシャルワーカーとしての技術を学ぶ科目編成を行う

3年次

主に精神障害者への実践的な支援方法を学び、多様な社会的ニーズに応えられるソーシャルワーカーとして社会を客観的・論理的に考察できる科目編成を行う

【介護福祉科】

介護福祉士として、利用者の尊厳を守り、自立支援を実現するために、根拠に基づいた思考力と実践力を育成し、最先端の介護技術を活用して課題解決ができる能力を習得することを目標とする。この目標に向け、講義・演習・実習を段階的に配置し、基礎から応用までの知識と技術を体系的に学べる科目を編成する。

①人間と社会

地域共生社会の理解を深め、多様な価値観を尊厳できる姿勢を育成する。

自己理解を深めるワークや対人援助に必要な人間関係を学び、チームマネジメントの基礎を習得する。

多職種連携授業（IPE 教育）等を通じ、チームケアにおける介護福祉士の専門性と役割を理解し、専門職間での円滑なコミュニケーション能力を養う。

②介護

利用者のその人らしい生活とよりよい人生を支援するため、個別支援計画やチームケアの手法、コミュニケーション技術を学ぶ。

必要な倫理観や理論を講義で学び、根拠に基づいた考え方を実践に応用する。

介護現場で発生する課題を分析し、最先端の介護技術を用いて解決策を考案できる能力を育成する

ICT や介護ロボットを活用し、効率的で先進的な支援技術を習得する。

③こころとからだのしくみ

身体構造や心身機能の基礎を学び、加齢や障害、認知症が生活に与える影響を理解する。状態に応じた適切なケアを学び、科学的根拠に基づいた支援を実践できる能力を育てる。

④介護福祉実習

各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護福祉士としての役割を理解する。

対象者や家族と信頼関係を築き、生活支援を通じて利用者の望む生活の実現を目指す。

実習は基礎から応用へと段階的に進め、着実に実践力を身につけられるよう編成する。

【国際介護福祉科】

将来日本の国家資格である「介護福祉士」取得を目指すために必要な日本語能力及び日本の文化や福祉理解に関連する科目及び、多様な価値観を認め合うことができる科目を編成する。

①日本語能力向上のため、JLPT N2 取得をめざす。

②日本の福祉を学ぶため、座学以外での学外学習や体験を通じて日本の福祉を理解できる科目編成を行う。

③介護福祉士養成課程につながる介護業界の基礎知識や言語を習得する科目を編成する。